

Votre

# 取扱説明書

保証書付

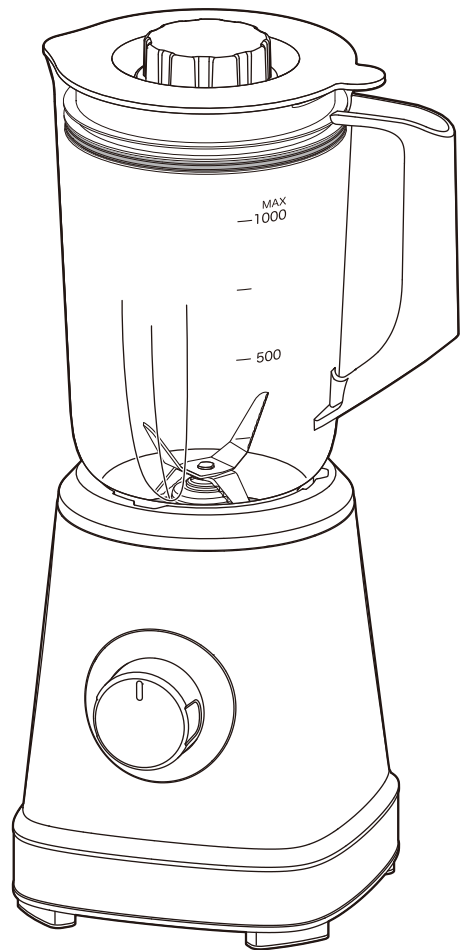
家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途で使用しないでください。  
思わぬ事故の原因になります。

## ジュースミキサー MJB-T100

### ■ も く じ

■ 安全上の注意	1~4
■ 各部の名称	5
■ モーター保護装置について	6
■ 必ずお守りください	7
■ 使いかた	
● 食材を準備する	7
● 食材をボトルに入れる	8
● ボトルを本体に取りつける	8
● 電源プラグをコンセントに差し込む	9
● 調理する	9
● 食材や調味料を追加するときは	10
● 調理物を取り出す	10
■ 調理レシピ	11~12
■ お手入れと保管	13~16
■ 仕様	16
■ 故障かな?と思ったら	17
■ 点検のお願い	18
■ アフターサービスについて	18
■ 保証書	裏表紙



この商品は、海外では使用できません。 FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社ジュースミキサーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- 使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み、正しく安全に使用してください。
- 読んだあとは、大切に保管してください。

# 安全上の注意

使用する前に「安全上の注意」をよく読み、必ず守ってください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用する人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は、禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



●記号は、強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは、使用する人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。



## 警告

### ■ 電源コード・電源プラグについて



**電源プラグは、根元まで確実に差し込む**

指示に従う ●発熱・感電・火災の原因になります。



**電源コードや電源プラグが傷んだり、差し込みがゆるいときは、使用しない**

禁止 ●ショート・感電・火災の原因になります。



**破損、故障、異常があったり、電源コードや電源プラグが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する**

指示に従う ●けが・感電・火災の原因になります。  
※故障・異常例  
18ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか？」を参照して異常があるときは、直ちに使用を中止する。  
電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検や修理を依頼してください。



**交流100V以外で使用したり、コンセントや配線器具（延長コードなど）の定格を超える使いかたはしない**

禁止 ●タコ足配線などで、コンセントや配線器具の定格を超えると、異常発熱・火災の原因になります。



**定期的に電源プラグのほこりをふき取る**

指示に従う ●電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。  
○電源プラグのほこりは、乾いたふきんでふき取る。



**電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねて使用しない**

禁止 ●ショート・感電・火災の原因になります。  
○結束バンドを必ずはずして、電源コードや延長コードを必ず伸ばして使用する。



**使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く**

プラグを抜く ●けが・感電・漏電火災の原因になります。



**電源コードの上に重いものや本体をのせたり、挟み込まない**










禁止 ●ショート・感電・火災の原因になります。

# 警告

## ■ 設置について

 <p>水ぬれ禁止</p>	<p>水や蒸気が本体にかかる場所、水にぬれた場所、湿気の多い場所に設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● ショート・感電・火災の原因になります。</li></ul>	 <p>禁止</p>	<p>可燃性ガスや引火性のもの（ガソリンやシンナーなど）がある場所に設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 爆発・火災の原因になります。</li></ul>
--	--	---	--

## ■ 使用について

 <p>分解禁止</p>	<p>分解、修理、改造をしない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● けが・感電・火災の原因になります。</li></ul> <p>※ 修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。</p>	 <p>禁止</p>	<p>子供や取り扱いに不慣れな方だけで使用しない</p> <p>乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● けがの原因になります。</li></ul>
 <p>禁止</p>	<p>すき間や穴に金属物や異物を入れない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● けが・ショート・感電の原因になります。</li></ul>	 <p>禁止</p>	<p>安全スイッチを指や棒などで押さない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 故障・けがの原因になります。</li></ul>
 <p>プラグを抜く</p>	<p>ボトルを取りついたり、取りはずすときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● けが・ショート・感電の原因になります。</li></ul> <p>◎ 運転中にボトルを取りはずさない。</p>	 <p>禁止</p>	<p>カッターや本体の回転部を露出したまま運転しない</p> <p>回転中のカッターや回転部は、危険なので絶対に触れない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● けがの原因になります。</li></ul>
 <p>禁止</p>	<p>運転中にスプーンや箸など、食材以外のものをボトルに入れない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 破損・故障・けがの原因になります。</li></ul>	 <p>指示に従う</p>	<p>復帰ボタンを押すときは、必ず運転スイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜き、ボトルを本体から取りはずしておこなう</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● けがの原因になります。</li></ul>
 <p>指示に従う</p>	<p>食材や調理物をボトルから取り出すときは、カッターに注意する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● けがの原因になります。</li></ul>		

## ■ お手入れ・保管について

 <p>プラグを抜く</p>	<p>お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● けが・ショート・感電の原因になります。</li></ul>	 <p>ぬれ手禁止</p>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● ショート・感電の原因になります。</li></ul>
 <p>水ぬれ禁止</p>	<p>本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● ショート・感電・火災の原因になります。</li></ul>	 <p>接触禁止</p>	<p>カッターは、鋭利なので直接手で触れない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● けがの原因になります。</li></ul>

# 警告

## ■ お手入れ・保管について



指示に従う

ボトル台とカッター台の取りはずしや取り付け、パッキンの取りはずしや取り付け、お手入れのときは、必ずゴム手袋を着用して、カッターに注意する

- けがの原因になります。



指示に従う

包装用ポリ袋は、子供の手の届かない場所に保管する

- 誤って顔にかぶったり、巻きついたりして、窒息する原因になります。

# 注意

## ■ 電源コード・電源プラグについて



禁止

電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない

- ショート・感電・火災の原因になります。
- ◎ 必ず電源プラグを持って引き抜く。



禁止

電源コードを持って本体を引っ張らない

- 設置場所が傷ついたり、故障・ショート・火災の原因になります。



指示に従う

電源プラグを抜き差しするときは、必ず運転スイッチを「OFF」にしておこなう

- 故障・けがの原因になります。

## ■ 設置について



禁止

火気や熱源（コンロや暖房器具など）の近くや上に設置しない

- 変形・火災の原因になります。
- ◎ 高温になる場所に設置しない。



禁止

直射日光があたる場所に、長時間設置しない

- 変色・変形の原因になります。



禁止

厨房や工場など油、油煙、金属粉が発生する場所や、ほこりの多い場所に設置しない

- 破損・感電・火災の原因になります。



指示に従う

安定した水平な場所に設置する

- 転倒や落下して、故障・けがの原因になります。
- ◎ じゅうたんの上など、本体底面の通気穴がふさがれるような場所に設置しない。

## ■ 使用について



禁止

業務用に使用しない

- 無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。



指示に従う

犬や猫などがいる部屋で使用するときには、十分注意する

- 本体や電源コードを傷め、故障・感電・火災の原因になります。



指示に従う

ボトルなど各部位の取り付けは、確実におこなう

- 食材が漏れたり、故障・けがの原因になります。
- ◎ ボトルなどの各部品を取りつけていない状態で運転しない。



禁止

食材を調理する以外の目的で使用しない





- 故障・けがの原因になります。

# ⚠ 注意

## ■ 使用について

 <p><b>柑橘類の皮をボトルに入れない</b> ●変色・変質・破損の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p><b>50℃以上の熱い食材をボトルに入れない</b> ●吹きこぼれや、変色・変形の原因になります。 ◎食材は、常温に冷ましてからボトルに入れる。</p> <p>禁止</p>
 <p><b>カラ運転や極端に少ない食材で運転しない</b> ●故障の原因になります。 ◎食材は、最小目盛り以上ボトルに入れる。 ◎必ず水分と食材をボトルに入れてから運転する。</p> <p>禁止</p>	 <p><b>最大目盛り（定格容量）を超える量の食材をボトルに入れて運転しない</b> ●食材がこぼれたり、故障・けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>指示に従う</p> <p><b>うなるような運転音がしたり、カッターの回転が遅かったり、停止したときは、直ちに運転を停止する</b> ●故障・けがの原因になります。 ◎調理禁止食材（7ページ参照）をボトルに入れない。</p>	 <p>指示に従う</p> <p><b>1回の運転は、4分以内にする</b> ●故障の原因になります。 ◎4分以上の連続運転はしない。 ※4分運転ごとに、2分以上の休みを入れてください。 ただし、負荷の状態により4分以内でもモーター保護装置が働いて、運転が停止することがあります。 運転が停止したときは、6ページの「モーター保護装置について」を参照してください。</p>
 <p>指示に従う</p> <p><b>運転するときは、ふたを手で押さえる</b> ●食材がこぼれる原因になります。</p>	
 <p>禁止</p> <p><b>運転中にふたや注ぎ口キャップを取りはずさない</b> ●食材がこぼれたり、けがの原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p><b>運転中に移動したり、持ち運ばない</b> ●破損・故障・けがの原因になります。 ◎持ち運ぶときは、ボトルを本体から取りはずす。</p>
 <p>禁止</p> <p><b>ボトルなどの各部品を電子レンジやオーブンレンジで使用しない</b> ●変形・破損・やけどの原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p><b>ボトルなどの各部品を冷凍庫や冷蔵庫に入れない</b> ●破損の原因になります。 ◎急激な温度変化を与えない。</p>
 <p>禁止</p> <p><b>食材や調理物をボトルに入れたまま長時間放置したり、保存しない</b> ●変色・破損の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p><b>落としたり、強い衝撃を与えない</b> ●破損・故障・けがの原因になります。</p>

## ■ お手入れ・保管について

 <p>指示に従う</p> <p><b>使用後は、毎回お手入れをする</b> ●食材や調理物が残ったままにすると、においが取れなくなったり、変色・破損の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p><b>掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹きつけない</b> ●変色・変質・破損の原因になります。</p>
 <p>禁止</p> <p><b>ボトルなどの各部品を食器洗い乾燥機で洗ったり、食器乾燥器で乾燥させない</b> <b>50℃以上のお湯で洗わない</b> ●変色・変形・破損の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p><b>お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面を使用しない</b> ●傷・変色・破損の原因になります。 ◎お手入れは、13～16ページの「お手入れと保管」を参照する。</p>



# 各部の名称

## ボトル

注ぎ口キャップ  
30mLを計量することができます。



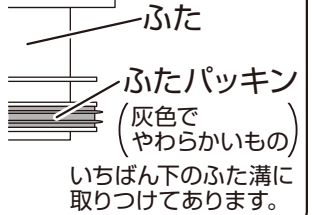
注ぎ口

ふた

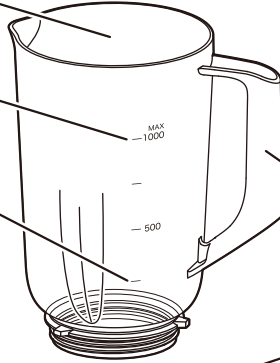


ふたパッキン

ふたを真横から見た図



ボトル



最大目盛り: 1000mL  
(定格容量)

最小目盛り: 250mL

取っ手

カッター台パッキン

カッター台パッキン  
(白半透明色でやわらかいもの)  
カッター台の外周部に取りつけてあります。



カッター



カッター台

**警告**



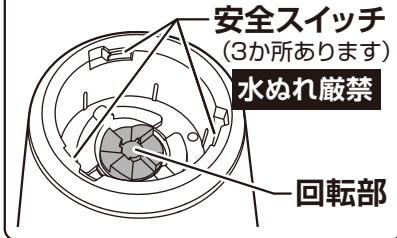
カッターは、鋭利なので  
直接手で触れない  
●けがの原因になります。

## 本体

ボトル台



本体を斜め上から見た図

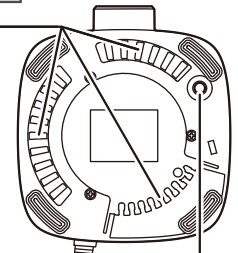


電源コード

電源プラグ

本体底面

通気穴

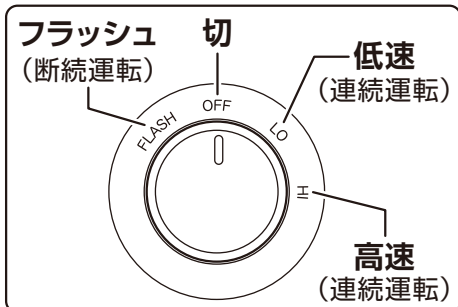


**復帰ボタン**

運転中に停止したときに  
この赤色のボタンを押します。(6ページ参照)

## 操作部

運転スイッチ



本体

●本書は、イラストを用いて説明しています。実際の製品とは、多少異なることがあります。

# モーター保護装置について

※食材が大きすぎたり、多すぎたり、水分が少ない状態で調理すると、モーターに負荷がかかり、モーター保護装置が働いて運転が停止します。これは、モーターを保護するためのもので、故障ではありません。

運転中に停止したときは、下記の手順で対処して運転を再開してください

■ 手順を守らないと不意に動作して、けがの原因になります。

## 1. 運転スイッチを「OFF」にする

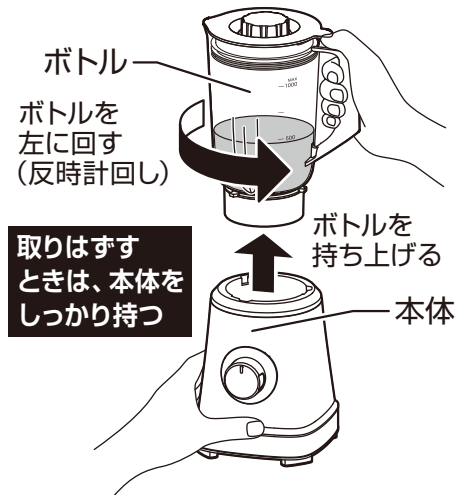
- 運転スイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜きます。

## 2. ボトルを本体から取りはずす

- ボトルを左に回して、取りはずします。

## 3. 食材の大きさ、量、水分を調節する

運転が停止した考えられる原因	対処
・食材が大きい	小さくカットする
・食材が多い	減らす
・水分が少ない	水または牛乳を足す
・カッターに食材が引っかかっている	取り除く
・調理できない食材が入っている	取り除く



### 注意

※運転中に停止したときは、上記 3. 項に記載の内容がないか確認し、対処してください。対処しないまま復帰ボタンを押して運転を再開しても、モーターに負荷がかかり再度運転が停止したり、故障の原因になります。

## 4. 復帰ボタンを押す

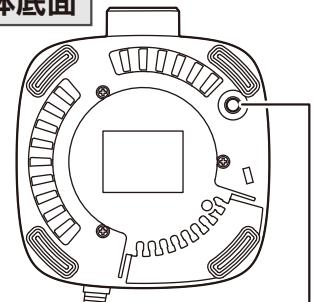
- 本体底面にある赤色の復帰ボタンを箸などの細いものを使用して、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

## 5. 運転を再開する

- ボトルを本体に取りつけ、電源プラグをコンセントに差し込み、運転を再開します。

※上記手順で対処しても、すぐに運転が停止するときや運転できないときは、2分以上休ませてから運転してください。

本体底面




復帰ボタン (赤色)  
本体底面にあります

# 必ずお守りください

※本製品は、食材をきざんで水分と攪拌するミキサーです。  
 フードプロセッサーではないので、食材をこねる、すりつぶす、ペーストを作るなどの用途には、使用しないでください。  
 (例：ハンバーグのタネ、お菓子やパンの生地、流動食など)

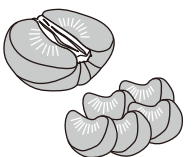
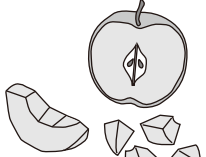


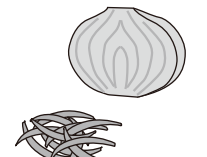
## 調理禁止食材

※下記に記載した食材を調理すると、故障・破損・けがの原因になります。

ロックアイス	×	市販の氷	 〈クラッシュアイス〉 家庭用冷蔵庫で作った角氷(約2.5cm角)は、10個まで砕くことができます。
冷凍された食材	×	冷凍された野菜や果物など	
肉・魚介類	×	挽肉作り、ハンバーグのタネ、ギョウザのタネ、つみれなど	
かたい食材	×	大豆、コーヒー豆、乾物類など	
粘りけの強い食材	×	長いも、じねんじょ、お菓子やパンの生地、流動食(介護食や離乳食)、水あめなど	
水分の少ない食材	×	ゆでたじゃがいもなど	
繊維質の食材	×	ショウガやウコンなど	
柑橘類の皮	×	みかんやレモンなどの皮(リモネンなど)	

# 使いかた

## 食材を準備する

<b>柑橘類</b> (みかんなど)  <p>皮を取り除き子房にする。          ※柑橘類の皮はボトルに入れないでください。</p>	<b>果物</b> (リンゴなど)  <p>皮をむいて芯を取り除き約2cm角に切る。</p>	<b>根菜類</b> (ニンジンなど)  <p>皮をむいて約1cm角に切る。</p>	<b>葉菜類</b> (ホウレンソウなど)  <p>よく洗って約2cm角に切る。</p>	<b>温度の高い食材</b> (温めた玉ねぎなど)  <p>常温に冷ます。          玉ねぎはスライスする。</p>
--	--	--	---	--

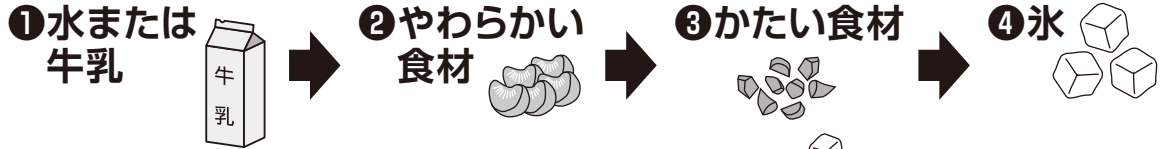


# 使いかた

※はじめて使用するときには、本体以外の各部品を軽く水洗いしてください。  
各部品の取りはずしかたと取り付けかたは、13~16ページを参照してください。

## 食材をボトルに入れる

●準備した食材を下記の順でボトルに入れます。〔必ずやわらかいものから入れる〕

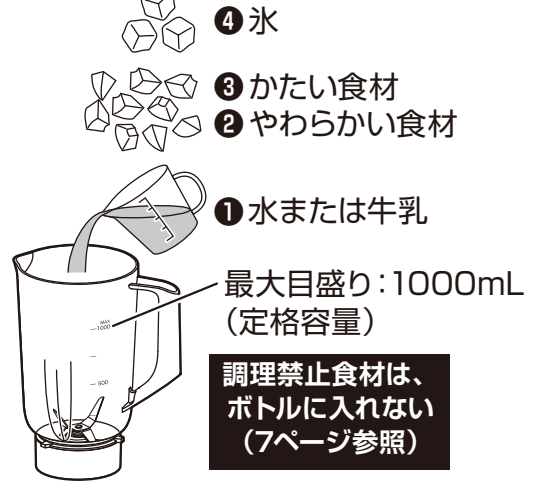


●食材をボトルに入れたら、ふたを取りつめます。

### 注意

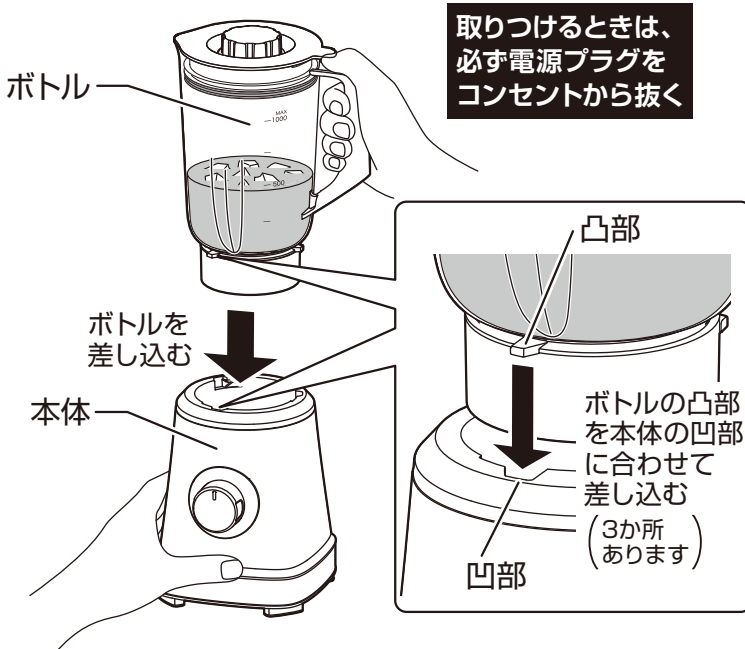
※必ず水または牛乳をボトルに入れてください。  
水分が少ない状態で運転すると、食材がカッターに引っかかり、運転が停止する原因になります。

※かたい食材を先にボトルに入れないでください。  
かたい食材を先にボトルに入れると、カッターに引っかかり、運転が停止する原因になります。



## ボトルを本体に取りつける

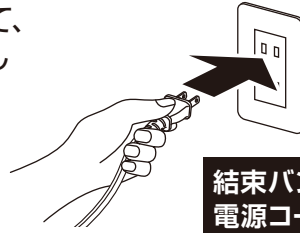
●ボトルを差し込んで、右に回して取りつめます。  
(ボトルが正しく取り付けられていないと、安全スイッチが働いて運転しません)



# 使いかた

## 電源プラグをコンセントに差し込む

- 運転スイッチが「OFF」になっているのを確認して、電源プラグを根元まで、確実にコンセントに差し込みます。

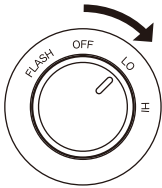


結束バンドを必ずはずし  
電源コードを必ず伸ばす

## 調理する

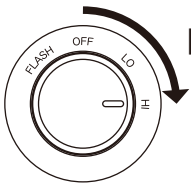
- ふたを手で押さえながら、運転スイッチを「HI」、「LO」、「FLASH」のいずれかに合わせて運転します。

運転中は、ふたを手で  
押さえる



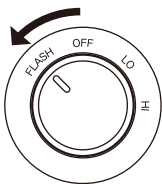
### ■ LO (低速 連続運転)

やわらかい食材を調理するときに  
使用します。



### ■ HI (高速 連続運転)

野菜や果物など、通常のジュースを  
調理するときに使用します。



### ■ FLASH (高速 断続運転)

食材がボトルに付着して調理しにくいときや、クラッシュアイスがうまく  
できないときに、「FLASH」で断続的に運転すると、調理しやすくなります。  
運転スイッチを「FLASH」に合わせている間だけ運転します。  
(運転スイッチから手を放すと、OFFにもどります)



## ⚠ 注意



1回の運転は、4分以内にする

- 故障の原因になります。

指示に従う

◎4分以上の連続運転はしない。

※4分運転ごとに、2分以上の休みを入れてください。

ただし、負荷の状態により4分以内でもモーター保護装置が働いて、運転が停止することがあります。  
運転が停止したときは、6ページの「モーター保護装置について」を参照してください。

## 注意

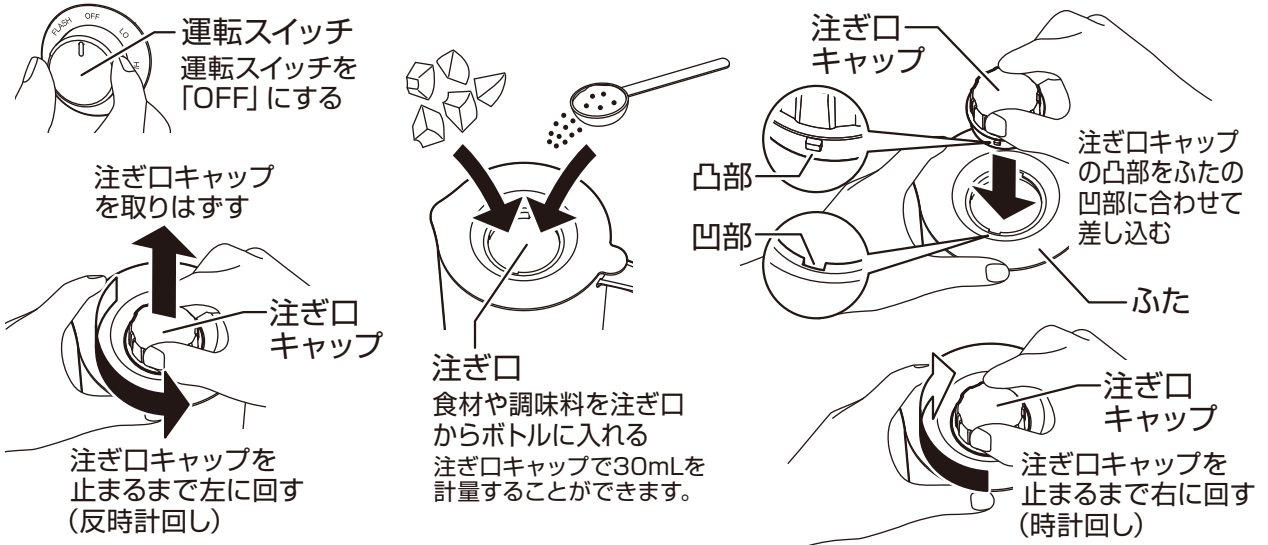
※負荷がかかって運転中に停止したときは、すぐに運転スイッチを「OFF」にして、6ページ  
の「モーター保護装置について」を参照して対処してください。  
対処しないで運転を再開すると、再度運転が停止したり、故障の原因になります。

# 使いかた

## 食材や調味料を追加するときは

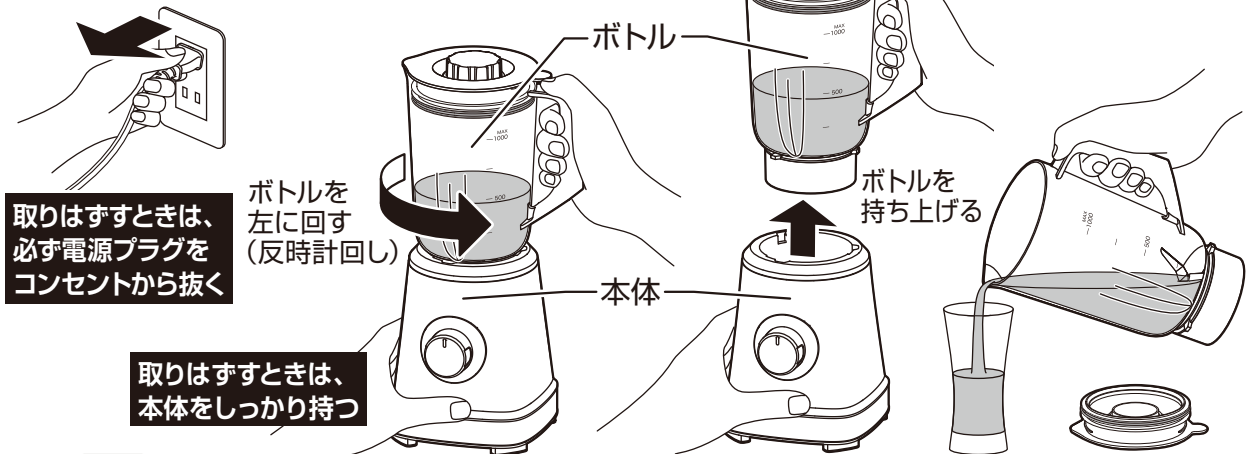
■ 食材や調味料を追加したいときは、下記の手順で注ぎ口からボトルに入れることができます。

- 運転スイッチを「OFF」にして、運転を停止します。
- 注ぎ口キャップを左に回して、取りはずします。
- 食材や調味料を注ぎ口からボトルに入れます。
- 注ぎ口キャップを差し込んで、右に回して取りつけます。



## 調理物を取り出す

- 調理が終わったら、運転スイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜きます。
- ボトルを左に回して、取りはずします。
- ふたを取りはずして、別の容器に移します。



### 注意

※調理後は、できるだけ早く別の容器に調理物をご移動ください。  
ボトルに入れたまま長時間放置したり保存すると、各部品が変色する原因になります。

# 調理レシピ

本製品は、食材をきざんで水分と攪拌するミキサーです。  
食材を絞ってジュースにするジューサーではありませんので、食材の粒が残ることがあります。

- 調理レシピに記載の運転時間は目安です。  
運転時間は、食材の状態やお好みのできあがり状態によって異なります。  
※お好みのできあがり状態にならないときは、運転時間を調節してください。

## ミックスジュース

### 【食材 2人分】

- ・バナナ……………1本
- ・リンゴ……………1/2個
- ・みかんの缶詰……………50g
- ・牛乳……………150mL
- ・角氷……………2～3個

### 【作りかた】

- ①バナナは、皮をむき約2cmに切ります。
- ②リンゴは、皮をむき芯を取って、約2cm角に切ります。
- ③牛乳 → みかんの缶詰 → バナナ → リンゴ → 角氷の順番でボトルに入れます。
- ④運転スイッチを「H」に合わせ、約40秒運転したらできあがり。

## リンゴジュース

### 【食材 2人分】

- ・リンゴ……………1/2個
- ・レモン果汁……………大さじ1
- ・練乳……………大さじ1
- ・牛乳……………200mL
- ・角氷……………2～3個

### 【作りかた】

- ①リンゴは、皮をむき芯を取って、約2cm角に切ります。
- ②牛乳 → レモン果汁 → 練乳 → リンゴ → 角氷の順番でボトルに入れます。
- ③運転スイッチを「H」に合わせ、約40秒運転したらできあがり。

## ストロベリージュース

### 【食材 2人分】

- ・イチゴ……………200g
- ・砂糖……………大さじ2
- ・牛乳……………140mL
- ・角氷……………2～3個

### 【作りかた】

- ①イチゴは、ヘタを取って、半分に切ります。
- ②牛乳 → 砂糖 → イチゴ → 角氷の順番でボトルに入れます。
- ③運転スイッチを「H」に合わせ、約40秒運転したらできあがり。

## 野菜ジュース

### 【食材 2人分】

- ・キャベツ……………10g
- ・セロリ……………10g
- ・トマト……………20g
- ・ニンジン……………20g
- ・リンゴ……………1/4個
- ・はちみつ……………小さじ2
- ・牛乳……………200mL
- ・角氷……………2～3個

### 【作りかた】

- ①キャベツとトマトは、約2cm角に切ります。
- ②ニンジンとセロリは、約1cm角に切ります。
- ③リンゴは、皮をむき芯を取って、約2cm角に切ります。
- ④牛乳 → はちみつ → トマト → キャベツ → リンゴ → セロリ → ニンジン → 角氷の順番でボトルに入れます。
- ⑤運転スイッチを「H」に合わせ、約40秒運転したらできあがり。

# 調理レシピ

## 果物と野菜のジュース

### 【食材 2人分】

・バナナ	1/2本
・リンゴ	1/2個
・ニンジン	1/3本
・プレーンヨーグルト	大さじ3
・牛乳	160mL
・角氷	2~3個

### 【作りかた】

- ①バナナは、皮をむき約2cmに切ります。
- ②リンゴは、皮をむき芯を取って、約2cm角に切ります。
- ③ニンジンは、約1cm角に切ります。
- ④牛乳 → プレーンヨーグルト → バナナ → リンゴ → ニンジン → 角氷の順番でボトルに入れます。
- ⑤運転スイッチを「HI」に合わせ、約40秒運転したらできあがり。

## オニオンフレンチドレッシング

### 【食材 約350mL分】

・玉ねぎ	中1個
・にんにく	1/2片
・酢	90mL
・オリーブオイル	90mL
・塩	小さじ1
・こしょう	適宜

### 【作りかた】

- ①玉ねぎとにんにくは、皮をむきスライスして電子レンジで温めたあと、常温に冷まします。
- ②酢 → オリーブオイル → 塩 → こしょう → 玉ねぎ → にんにくの順番でボトルに入れます。
- ③運転スイッチを「HI」に合わせ、約40秒運転したらできあがり。

## クラッシュアイス

- 家庭用冷蔵庫で作った角氷（約2.5cm角）で、クラッシュアイスを作ることができます。
- クラッシュアイスを作るときは、角氷（10個まで）をボトルに入れ、20秒程度「HI」で運転します。

### 注意

※クラッシュアイスを作るときは角氷は10個までとし、それ以上ボトルに入れたり、市販のロックアイスでクラッシュアイスを作らないでください。

破損・故障の原因になります。

※クラッシュアイスは、カッターに氷が引っかかって、運転が停止しやすくなります。運転が停止したときは、電源プラグをコンセントから抜き、ボトルを本体から取りはずして、引っかかった氷を取り除いたあと、復帰ボタンを押して運転を再開してください。（6ページ参照）

## 調理アドバイス

### 【食材がボトルに付着したり、カッターに引っかかるときは】

- 食材がボトルに付着して調理しにくいときや、クラッシュアイスがうまくできないときは、様子を見ながら「FLASH」で断続的に運転すると、調理しやすくなります。
- 食材がカッターに引っかかったときは、運転スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜き、ボトルを本体から取りはずして、引っかかっている食材を取り除いてから調理します。食材が大きくて引っかかったときは、取り除いたあとに小さくカットしてから調理します。

### 注意

※そのまま運転をつづけると、故障の原因になります。



# お手入れと保管

※ジュースミキサーは、食品に触れる調理器具です。

使用後は、毎回必ずお手入れをして、いつも清潔な状態で使用してください。

※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

## 警告



カッターは、鋭利なので直接手で触れない

●けがの原因になります。

接触禁止

## 必ずお守りください

※お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

※お手入れするときは、食器洗い乾燥機で洗わないでください。

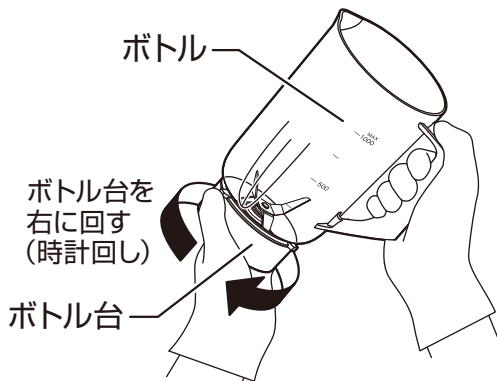
※お手入れに、食器用中性洗剤を使用したあとは、洗剤が残らないように洗い流してください。洗剤が残っていると、変色・破損の原因になります。

※お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面を使用しないでください。

傷・変色・破損の原因になります。

## ボトルとボトル台の取りはずし

●ボトル台を右に回して、取りはずします。



カッターに手が触れないように注意する

ボトル台を  
取りはずす

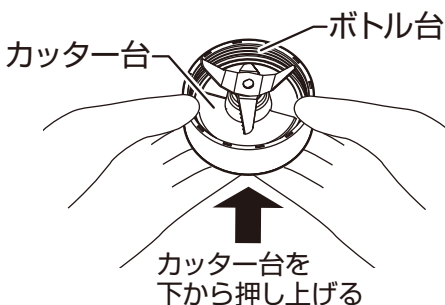


## カッター台とカッター台パッキンの取りはずし

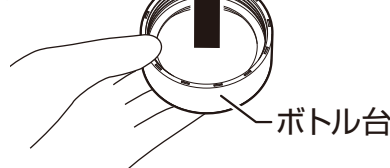
●カッター台を下から押し上げて、取りはずします。

●カッター台パッキンを、取りはずします。

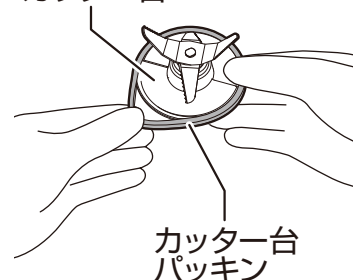
カッターに手が触れないように注意する



カッター台の  
外周部を持って  
取りはずす



カッター台

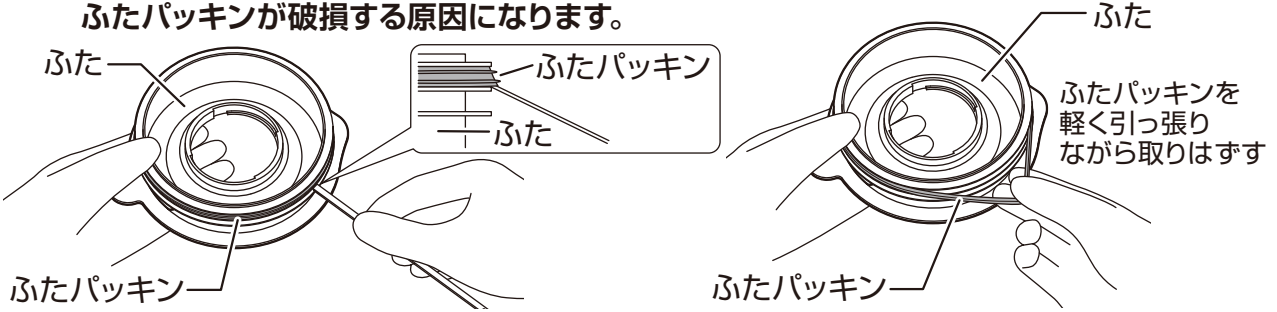


外周部のパッキンを軽く  
引っ張りながら取りはずす

# お手入れと保管

## ふたパッキンの取りはずし

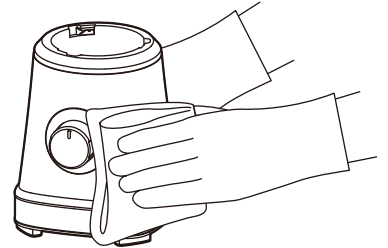
- 先が平たくなった細いものを使用して、ふたパッキンを取りはずします。  
※ふたパッキンを取りはずすときは、先のとがったものは使用しないでください。  
ふたパッキンが破損する原因になります。



## 本体のお手入れ

## ●丸洗いできません

- 調理くずや汚れは、水やぬるま湯にやわらかいふきんを浸して、よくしぼってふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、水やぬるま湯で薄めた食器用中性洗剤にやわらかいふきんを浸して、よくしぼってふき取ります。  
さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

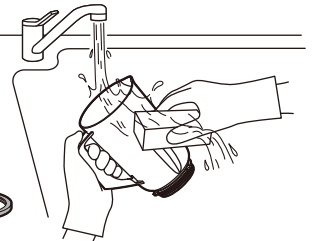
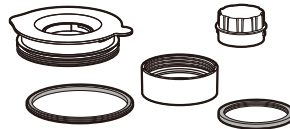


## ボトル、ボトル台、ふた、注ぎ口キャップ、 カッター台パッキン、ふたパッキンのお手入れ

## ●丸洗いができます

- 食器用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分をふき取ってよく乾燥させます。

※お手入れ後は、カッター台パッキンと  
ふたパッキンを必ず取りつけてください。



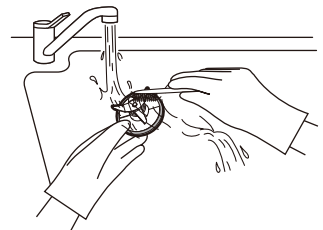
## お知らせ

- 食材によっては、食材の色素がボトルなどに付着します。  
調理後早めにお手入れをすることで、色素の付着を軽減できます。

## カッター台、カッターのお手入れ

## ●丸洗いができます

- 食器用中性洗剤をブラシに数滴つけて水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、よく乾燥させます。



## ⚠ 警告



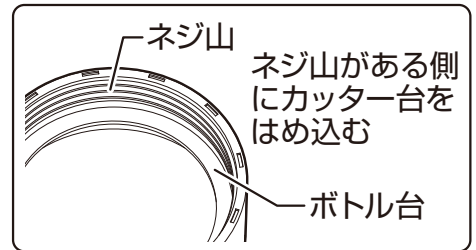
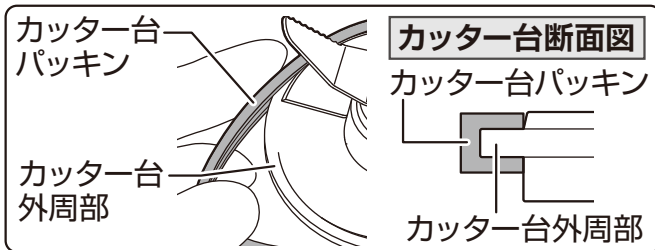
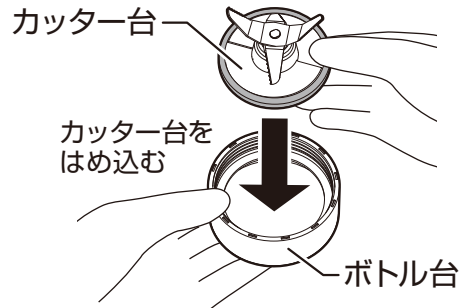
カッターは、鋭利なので直接手で触れない  
●けがの原因になります。

接触禁止

# お手入れと保管

## カッター台パッキン、カッター台とボトル台の取り付け

- カッター台パッキンを、取りつけます。
- カッター台を、はめ込みます。



### 注意

※カッター台パッキンは、確実に取りつけてください。  
カッター台パッキンの取り付け忘れ、ねじれ、ズレがあると、食材や調理物が漏れて安全スイッチ部より水分が入り、故障の原因になります。

## ボトルとボトル台の取り付け

- ボトル台を差し込んで、左に回して締めつけます。



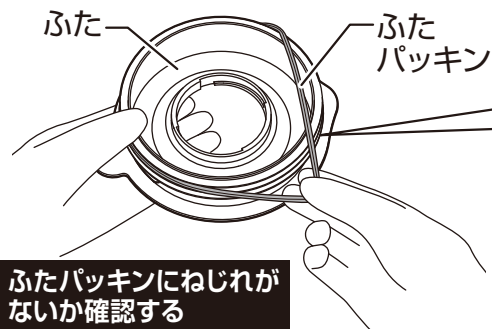
### 注意

※ボトルとボトル台を取りつけるときは、ボトル台の締めすぎに注意してください。  
取りはずせなくなる原因になります。  
※ボトル台が傾いた状態で締めつけると、ネジ山がつぶれたり、取りはずせなくなる原因になります。

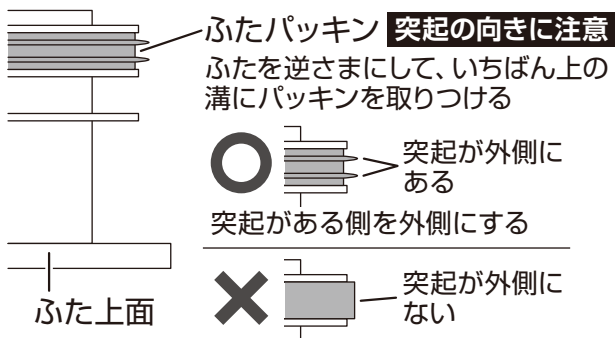
# お手入れと保管

## ふたパッキンの取りつけ

- ふたパッキンを、取りつけます。



### ふたを逆さまにして真横から見た図



### 注意

- ※ふたパッキンは、確実に取りつけてください。
- ふたパッキンの取り付け忘れ、ねじれ、ズレがあると、食材や調理物が漏れて水分がボトルをつたい安全スイッチ部より水分が入り、故障の原因になります。

## 保管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。(湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります)

### 注意

- ※電源コードの根元を曲げたり、本体に巻きつけたり、電源コードや電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。
- 異常発熱・ショート・火災の原因になります。

## 仕様

電源	AC 100V (50-60Hz共用)
消費電力	290W
定格時間	4分間以内 (4分間使用ごとに2分間以上休止)
定格容量	1000mL
製品寸法(約)	幅: 170mm (取っ手含む) × 奥行: 150mm × 高さ: 345mm
製品質量(約)	1.4kg
コード長(約)	1.0m
カラー	ブラックチタンコート
安全装置	温度ヒューズ、安全スイッチ

- 製品寸法の幅は、正面から見て取っ手が右側になるように、ボトルを取りつけたときの寸法です。
- 製品寸法の奥行は、本体背面の電源コード根元部は含んでいません。
- 製品の仕様や外観などは、改善などのため予告なく変更することがあります。

# 故障かな？と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
運転しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	●電源プラグを根元まで、確実にコンセントに差し込んでください。
	●本体にボトルが確実に取り付けられていますか？	●安全スイッチが働いています。本体にボトルを確実に取り付けてください。
	●4分以上の連続運転や休止時間を守らないで運転していませんか？	●故障が考えられます。お買い上げの販売店に、点検・修理を依頼してください。
カッターの回転が遅く モーターがうるような音がしたり 運転中に停止する	●食材が大きすぎたり、多すぎたり、水分が少ない状態ではありませんか？	●食材を小さくしたり、量を減らしたり、水分を足してください。
	●食材がカッターに引っかかっていますか？	●カッターに引っかかった食材を取り除いてください。
	●調理禁止食材をボトルに入れていませんか？	●7ページの「必ずお守りください」を参照して、調理禁止食材を取り除いてください。
	●モーターに負荷がかかり、モーター保護装置が働いていませんか？	●モーターに負荷がかかると、モーター保護装置が働いて運転が停止します。6ページの「モーター保護装置について」を参照して、対処してください。
振動が大きい	●回転部が変形していませんか？	●お買い上げの販売店に、点検・修理を依頼してください。
食材、調理物が漏れる	●カッター台パッキンやふたパッキンが正しく取り付けられていますか？	●カッター台パッキンやふたパッキンを正しく取り付けなおしてください。
	●ボトル台やふたが確実に取り付けられていますか？	●ボトル台やふたを確実に取り付けてください。
	●ボトル台とカッター台パッキンの間に調理くずなどが挟まっていますか？	●ボトル台やカッター台パッキンをお手入れしてください。
ボトルなどの各部品 が変色したり、ひび 割れがある	●食材や調理物をボトルに入れたまま長時間放置したり、保存していませんか？	●調理後は、できるだけ早く別の容器に調理物を移してください。ボトルに入れたまま長時間放置したり保存すると、ボトルなどの各部品が変色する原因になります。
	●柑橘類の皮をボトルに入れていませんか？	●柑橘類の皮をボトルに入れると、各部品の変色やひび割れの原因になります。ひび割れたときは、各部品を交換してください。

※本体の回転部周辺やカッター台裏側に、黒っぽい液体〔回転部の潤滑油〕や黒い粉状のものが付着することがありますが、性能には影響ありません。気になるときは、やわらかいふきんでふき取ってください。



# 点検のお願い

安全に長く愛用していただくために  
日頃から点検をおこなってください。

## ★こんな症状は、ありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグに、深い傷や被覆破れがある。
- 電源プラグが変形している。
- 運転中に電源コードを動かすと、運転が停止する。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- こげ臭いなどの異臭がする。
- 異常に熱くなる。
- 異常な振動がある。
- 異常な音がする。
- 本体や各部品が変形・ひび割れ・破損している。
- その他の破損・故障・異常がある。

- 電源プラグやコンセントに、ほこりやごみが付着している。

## ★異常があれば

### 使用中止 !!

故障や事故防止のため  
運転スイッチを「OFF」に  
して、電源プラグをコン  
セントから抜き、必ず販売  
店に点検・修理を依頼して  
ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

## アフターサービスについて

### ●この製品は、保証書がついています。

お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入を受けてください。

### ●保証期間は、お買い上げ日より1年です。

保証期間中の修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。

保証書の記載内容により、修理いたします。

その他詳細は、保証書を参照してください。

### ●保証期間経過後の修理（有料）については、お買い上げの販売店に依頼してください。

### ●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ●サービスパーツについて

ボトルやパッキンなどのサービスパーツについては、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

## ■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取り扱いや、お手入れ方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の依頼ができない場合は、右記へお問い合わせください。

### 「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。  
受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

FAXまたはEメールでのお問い合わせも受け付けています。  
その際は、商品名・品番・お問い合わせ内容・お名前・電話番号を記入のうえ、お問い合わせください。

●FAXでの  お問い合わせは **0120-680-287**

●Eメールでの お問い合わせは **info\_m@yamazen.co.jp**

### 個人情報の取り扱いについて

株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を、お問い合わせへの対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の商品名・品番をお知らせください。

S-210510